

駿河台大学同窓会
2017年度 総会次第

1. 日 時 2017年5月20日(土) 15時～

2. 場 所 ホテルグランドパレス 3階「白樺」

3. 進 行

1. 同窓会長挨拶

2. 名誉顧問挨拶 吉田恒雄学長

3. 幹事紹介

4. 議 事

(1) 2016年度事業報告
及び収支決算報告について・・・ 資料1

(2) 2016年度監査報告について

(3) 会則改正及び支部規約(案)について・・・ 資料2

(4) 2017年度事業計画
及び収支予算案について・・・ 資料3

(5) その他

以 上

2016年度事業報告及び収支決算については、
現在、決算作業中につき、ご了承願います。

駿河台大学同窓会支部規約 (案)

第1条 (目的)

本規約は、駿河台大学同窓会(以下、本会という)会則第16条第2項に基づき「支部に関する事項」を定めることを目的とする。

第2条 (単位)

支部の設立は、以下の単位とする。

- ① 都道府県単位
- ② 職域単位
- ③ その他、本会役員会が認めたもの

第3条 (申請方法)

支部の設立を申請する場合は、下記の書類を同窓会事務局(以下「事務局」という)宛に提出し、本会役員会の承認を得なければならない。

- ① 支部設立願 (様式第1号)
- ② 支部会員名簿 (様式第2号)

第4条 (補助)

前条により支部の設立を本会役員会が承認した場合は、設立総会に要する通信連絡費、会場費及び軽食費を本会より全額補助する。

2 本会は、支部活動を支援するため、次のとおり支部補助金を支給することができる。

補助対象経費	補助金額
支部総会の実施経費(実費)	年間10万円を上限とする。ただし、飲食への補助は、1回1人当たり3,000円を限度とする。

ただし、支部が計画する実施事業で上記補助金額を超える額の交付を求める場合には、本会役員会に対し事前申請のうえ、本会役員会と協議し決定を受けるものとする。

3 支部が前項の補助金を申請する場合には、補助金を受けようとする2ヶ月前までに、次の書類を事務局に提出し、本会役員会の決定を受けるものとする。

- ① 補助金申請書 (様式第3号)
- ② 事業実施計画書 (様式第4号)
- ③ 見積書
- ④ その他、本会役員会が必要と認める書類

4 第2項で定める支部補助金を受けた場合は、事業実施後速やかに事務局へ領収書添付の上、書面により事業実施を報告するものとする。

第5条 (協力義務)

前条第2項による補助金を受けた支部は、事業実施後、その実施概要を本会ホームページや

会報誌への記事掲載などの広報活動に協力するものとする。

第6条（解散）

支部を解散しようとするときには、「解散届」（様式第5号）を事前に事務局に提出し、本会役員会の承認を得るものとする。なお、支部の解散日は本会役員会の承認日とする。

第7条（承認の取消）

本会役員会は、支部の活動について次の各号に該当する場合には、当該支部長と協議の上、支部の承認を取り消すことができる。

- ① 本細則に定める事項が順守されていないと認められるとき
- ② 本会の名誉を著しく傷つけたとき

第8条（補則）

その他本規約に定めなき事項については、その都度、本会役員会における協議により決定するものとする。

附 則

この規約は、平成 年 月 日から施行する。

(様式第1号)

駿河台大学同窓会支部設立願

(西暦) 年 月 日

駿河台大学
同窓会長 殿

申請者氏名 _____ 印
卒年・学部 _____
現住所 _____
電 話 _____
e-mail _____

今般、私は、駿河台大学同窓会会則第16条および駿河台大学同窓会支部細則第3条の規定に基づき、支部を設立したく、下記のとおり申請いたします。

記

1. 設立単位 都道府県 職域 (具体的職名)
 その他 ()

2. 支部の名称
(フリガナ)

3. 支部設立日 年 月 日 (予定)

4. 支部会員名簿 別添のとおり

5. 代表者氏名

6. 支部への連絡先
氏 名 _____
卒年・学部 _____
連絡先住所 _____
連絡先電話 _____
e-mail _____

(様式第2号)

駿河台大学同窓会〇〇支部会員名簿

年 月 日現在

NO	氏名	卒年・学部	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

(様式第3号)

支部活動補助金申請書

申請日 (西暦) 年 月 日

駿河台大学 同窓会長 殿

申請支部名 _____

代表者名 _____ (印)

作成者 _____ (印)

連絡先 (tel) _____

当支部の事業実施に伴う経費について、下記書類を添えて補助金を申請します

記

添付書類 事業実施計画書

〇〇〇〇

〇〇〇〇

.....

(様式第4号)

事業実施計画書

駿河台大学 同窓会長 殿

支部名	
作成者名	代表者:
	記入者:

事業名	
開催日時	
開催場所	
対象者	
参加予定人数	人
事業の目的	
事業内容	
補助金申請額	円
収支予算	
(収入)	(支出)
合計 円	合計 円
添付書類(見積書、送金先口座情報等)	

(2016. ●●)

※本計画書は事業実施の2ヶ月前までに同窓会事務局宛に提出して下さい。

(様式第5号)

(西暦) 年 月 日

支 部 解 散 届

駿河台大学
同窓会長 殿

支部名称 _____

届出者 _____ 印

住 所 _____

電 話 _____

e-mail _____

今般、当支部を解散したく、駿河台大学同窓会支部細則第6条に基づき、ここに届出いたします。

本会役員会承認日： 年 月 日

2017年度駿河台大学同窓会 事業計画 (案)

＜新規事業＞

1. 同窓会活性化を目的とする支部組織の拡大 (予算額: 50 万円)

同窓会会則の改正及び支部規約の制定により、地方支部組織にとどまらず、同窓生相互の交流を促し職域単位などの新たな支部組織を設立し易い環境をつくり、部活・サークルも含め OB 会開催等に係る通信費の支援など支部活動をバックアップする。予算科目「支部会補助金」へ計上。

2. 「同窓会講座」開講に向けた対策 (予算額: 30 万円)

母校では、2017 年度から新カリキュラムが実施される。同窓会としても、従前の「資金提供型」の寄附講座に加えて、同窓生が授業を受け持つ「講師派遣型」の講座を 2018 年度より開講すべく、その準備をすすめたい。そのため、2017 年度は試行期間と位置づけ、通常授業の数コマを同窓生が受け持ちながら、今後の講師の人選や授業方法を検討していきたい。なお、従来の寄附講座を予算削減(▲30 万円)することにより、本件新規事業に係る予算を賄う計画としている。予算科目「同窓会寄附講座」へ計上。

3. 現役学生への資格取得・検定試験受験の助成 (予算額: 100 万円)

上記3と同様、現役学生に対する同窓会費納入メリットの一つとして、行政書士、宅地建物取引士などの資格取得やフランス語、中国語などの語学検定試験及び MOS 試験等を積極的に受験する学生に対して、受験料(検定料)の半額を助成し、後輩たちの努力を後押しする。予算科目を新設。

4. 現役学生との交流事業 (予算額: 30 万円)

現役学生に対する同窓会費納入メリットの一つとして、同窓会が提供する交流イベントを企画していきたい。初年度は、現在キャリアセンター主催で行っている現役学生向けの就活支援イベント「卒業生との交流会・社会で活躍する駿大 OB・OG との座談会」や、学部単位で実施している卒業生を活用した就活支援行事を後援する。予算科目を新設。

＜継続事業＞

1. 同窓会報の発行 (予算額: 60 万円)

同窓会報を年に 2 回、4 月及び 10 月に作成し、会員全員に配布する。同時に同窓会総会やホームカミングデー等の案内を送付する。

2. 大学への卒業寄付 (予算額: 100 万円)

さまざまなクラブで後輩たちが目覚ましい成績を残している。代表的な活躍では、陸上競技部で、2016 年秋に開催された「日本学生選手権」女子 4×100mR において、日本全国の強豪校を相手に見事 3 位入賞し、「日本選手権」においても、男子 4×400mR で 3 位入賞といったように男女ともに高い実績を残した。長距離の駅伝部では、箱根駅伝の本戦出場は逃したものの、主将の平賀喜裕選手が昨年に続いて学生連合チームの一員として箱根に出場し、本学のユニフォームを身に纏い区間 2 位(参考記録)の快走を見せた。他方、硬式野球部は、昨年の秋リーグ(2 部)で優勝し、入替戦の結果、見事 1 部リーグへ返り咲いたことなどが挙げられる。

今後も本学の選手たちが活躍していくためには、怪我の予防や怪我からの早期回復が重要なことになる。大学及びクラブ側としても、トレーナー等の人的増員は難しい中、これらの効果が期待できる「超音波治療器」と「低周波治療器」の要望を受けた。

3. 同窓会総会の開催（予算額：260万円）
5月20日（土）に総会及び懇親会を「東京都内」で開催する。
4. ホームカミングデーの実施（予算額：200万円）
10月28日（土）の駿輝祭初日に著名人を招いて講演会を実施し、併せて会員及び母校教職員を招いて懇親会を開催する。
5. 同窓会ホームページの管理（予算額：40万円）
同窓会ホームページを引き続き随時更新し、充実させる。また、2016年度に開設した Facebook ページを活用し、今後も会員との情報共有を図る。
6. 地方支部会の開催（予算額：100万円）
地方支部会の新設やイベントの実施を支援する。新たな地方支部会として、「沖縄支部会」の発足を計画している。
7. 同窓会寄附講座（予算額：240万円）
後輩である在学生の応援、大学に対する援助及び同窓会のPRを目的として、従前より継続してきた寄附講座3科目について、今後の本会予算を考慮し減額のうえ支援する。具体的には、「インターンシップⅠ」「森林文化Ⅰ・Ⅱ」については実施経費に対し各90万円を、「まちづくり実践」は実施経費の削減が図られたことに伴い60万円とする。（従前は各100万円を支援）
8. 懸垂幕等作成費（予算額：100万円）
在学生の活躍をアピールする告知用懸垂幕を同窓会ロゴ入りで作成し、大学会館外壁に掲出。また、スポーツ公認団体の応援時に使用する旗等を必要に応じ作成する。
9. オリンピック等出場選手への援助（予算額：200万円）
オリンピックもしくはそれに準ずる世界大会に出場する同窓生に対して支援する。
10. 学生応援企画への援助（予算額：20万円）
駿輝祭期間中に実施される展示発表の中から同窓生が選んだ優秀作品を対象に、副賞を添えて表彰（総額10万円）すること、及び駿輝祭の成功を支援する趣旨で協賛金10万円を支出（パンフレットへの広告料含む）する。
11. 「同窓会給付奨学金制度」の運用（予算額：103万円）
昨年度の定期総会において承認を得た同窓生子女を対象とした給付奨学金制度の運用が開始する。今年度は、3件（@342,500円×3）を予算化し、受験期を迎えるお子さんをお持ちの同窓生を応援する。
12. 公債購入（予算額：1億円）
現有する2件の債券のうち、2012年度に満期・更新した「中期利付国債5年（残高1億円）」が本年9月に、満期償還を迎える。当面、この資金を消費する計画にはないため、引き続き公債を購入し運用する。
13. 「同窓会人材バンク」構築（予算計上なし）
昨年度に引き続き、社会で活躍している同窓生の「人材バンク」を構築し、同窓会のデータベース化とともに、そのマンパワーを活用して母校の教育活動や就職支援活動等に貢献していきたい。

以上

2017年度同窓会収支予算(案)

(2017年4月1日～2018年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部)

(単位 : 円)

勘定科目	2017予算額	2016予算額	増減	備考
前年度繰越金	90,179,804	98,526,700	△ 8,346,896	
会費	16,135,000	15,985,000	150,000	5,000円×3,227名 ※2017年度学生数見込み
受取利息	282,000	300,000	△ 18,000	定期預金・普通預金・国債利息
その他収入	100,000,000	0	100,000,000	2017.9.20国債償還
収入の部合計	206,596,804	114,811,700	91,785,104	

(支出の部)

(単位 : 円)

勘定科目	2017予算額	2016予算額	増減	備考
事業費	16,330,000	30,100,000	△ 13,770,000	
運営事務費	3,800,000	3,800,000	0	
予備費	3,000,000	3,000,000	0	
小計	23,130,000	36,900,000	△ 13,770,000	事業費・運営事務費・予備費 小計
資産運用支出	100,000,000	0	100,000,000	公債購入
小計	100,000,000	0	100,000,000	
翌年度繰越金	83,466,804	77,911,700	5,555,104	
支出の部合計	206,596,804	114,811,700	91,785,104	

(資産残高内訳/2017年度末見込)

(単位 : 円)

項目	金額	備考
普通預金	43,366,804	
定期預金	40,000,000	2017.6.5.満期
現金	100,000	
小計	83,466,804	次年度繰越金
国債	50,000,000	2019.12.20償還予定
公債	100,000,000	2017.9.20国債償還→公債にて運用予定
計	233,466,804	

支出予算項目内訳明細表

(2017年4月1日～2018年3月31日)

「事業費」内訳

(監査中)

(単位:円)

勘定科目	2017予算額	2016予算額	2016決算額	2015決算額	備考
同窓会会報作成費	600,000	600,000		397,440	年2回発行(300,000円×2回)
大学への卒業寄付	1,000,000	1,000,000		864,000	H28年度卒業生分
同窓会総会実施費	2,600,000	2,600,000		2,637,280	会場費2,400,000円、二次会費100,000円、諸経費100,000円/東京開催
ホームカミングデー実施費	2,000,000	2,000,000		1,943,595	講演会・懇親会・記念品購入代等
ホームページ管理費	400,000	400,000		388,800	同窓会ホームページメンテナンス・更新等
支部会補助金	1,500,000	1,000,000		597,140	地方支部会開催経費100万円、単位支部活動への補助金(通信費含む)50万円
同窓会寄附講座	2,700,000	3,000,000		2,833,286	「インターンシップ」「森林文化Ⅰ・Ⅱ」各90万円、「まちづくり実践」60万円及び「同窓会企画講座」開講準備(30万円)
懸垂幕等作成費	1,000,000	1,000,000		311,040	告知用懸垂幕等作成費
オリンピック等出場選手援助	2,000,000	2,000,000		0	
学生応援企画費	200,000	1,000,000		508,340	駿輝祭における優秀な展示物の表彰(総額10万円)及び駿輝祭協賛金(10万円)
グランドデザイン支援費	0	10,000,000		9,912,566	グランドデザインに係る学部アクションプランに基づく支援・グランドデザインに基づく施設改修等
創立30周年記念事業支援費	0	5,500,000		0	母校30周年記念式典実施経費支援
給付奨学金事業費	1,030,000	0		0	<新規計上> 新設した給付奨学金(@342,500円×3件)
準会員の各種検定試験受験料補助費	1,000,000	0		0	<新規計上> 準会員(現役学生)の資格・検定試験受験に対する助成
準会員との交流事業費	300,000	0		0	<新規計上> 準会員(現役学生)との交流イベント実施費用
計	16,330,000	30,100,000	0	20,393,487	

「運営事務費」内訳

(監査中)

勘定科目	2017予算額	2016予算額	2016決算額	2015決算額	備考
郵送料	3,000,000	3,000,000		2,394,552	会報誌年2回発送(1,500,000×2回)・料金受取人払
印刷費	300,000	300,000		258,930	卒業生住所届はがき・総会出席はがき・役員名刺印刷費、封筒作成費
交通費	300,000	300,000		27,660	役員及び事務局出張旅費
雑費	200,000	200,000		152,258	振込手数料等
計	3,800,000	3,800,000	0	2,833,400	